



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
 コード番号 6419 URL <http://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,516	7.8	322	—	619	5,531.3	1,046	29,858.6
2021年3月期第1四半期	3,262	△38.5	△169	—	10	△98.9	3	△99.5

(注)包括利益 2022年3月期第1四半期 997百万円 (1,584.7%) 2021年3月期第1四半期 59百万円 (△92.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	62.64	—
2021年3月期第1四半期	0.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	58,278	52,709	90.4	3,156.27
2021年3月期	57,961	52,297	90.2	3,131.56

(参考)自己資本 2022年3月期第1四半期 52,709百万円 2021年3月期 52,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,400	22.0	1,000	634.6	1,180	474.8	720	1,071.4	43.11
通期	18,000	21.9	2,400	112.3	2,800	82.6	1,800	123.0	107.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	22,720,000 株	2021年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	6,020,024 株	2021年3月期	6,020,024 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	16,699,976 株	2021年3月期1Q	16,699,976 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、政府・自治体による各種施策の実施やワクチン接種の加速化を受け、経済活動の持ち直しが期待されますが、変異株による感染再拡大の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、自動認識システム関連事業、ホテル関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をまいりました。また、変化する市場環境に柔軟に対応するため、各事業会社の役割や責任の明確化、意思決定の迅速化を推し進めるとともに、人づくりや組織づくりの再構築を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高35億16百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益3億22百万円（前年同四半期は1億69百万円の損失）、経常利益6億19百万円（同5,531.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益として計上したことから10億46百万円（同29,858.6%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響を受け、先行き不透明な状況が続きました。また、2021年度内に規則改正等に対応した遊技機への入れ替えが必要な状況も重なり、設備投資に対するパチンコホールの慎重な姿勢は依然として続いております。各パチンコホールの感染症対策の徹底により遊技場におけるクラスターは発生しておりませんが、遊技客数や売上の回復にはまだ時間を要するものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは、少人数でホール運営が可能なパーソナルPCシステム及び遊技データ等の収集・AI分析が可能なパーソナルPCシステム「マースユニコン」を中心にトータルシステムでの提案・販売を行ってまいりました。パーソナルPCシステムは、パチンコホールが抱える人手不足や人件費の高騰等の経営課題を改善するシステムとして広く認識され、潜在的な設備の更新需要が見込まれます。また、感染リスクが伴う状況においては、遊技客と従業員の接触回数を減らせるとして再注目されております。しかしながら、パチンコホールの営業活動の自粛や縮小、更には先行き不透明な状況から周辺設備の買い控え傾向は強く、新規出店や大規模な改装の案件が乏しかったことから、販売状況は厳しいものとなりました。当四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は6店舗、当四半期連結累計期間末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,558店舗（市場シェア21.4%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は6店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,702店舗（市場シェア23.4%）となりました。

空気の流れで紙幣を搬送する業界随一のAir紙幣搬送システム及びハイスペックモデルの立体Air紙幣搬送システムは、導入効果としてセキュリティの強化やホール業務の省力化が期待されますが、当四半期連結累計期間においては商談案件に乏しかったことから、販売は限定的となりました。

感染症対策の製品として、遊技客と従業員の接触を回避する「セルフPOS」をパチンコホール向けに、カードの自動除菌ができる「全自動カードクリーナー」をパチンコホール、ホテル、病院等の施設向けに販売を行いました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、21億55百万円（前年同四半期比9.0%増）、セグメント利益は4億78百万円（同273.3%増）となりました。

[自動認識システム関連事業]

自動認識システム関連事業における市場は、第4次産業革命（Industry 4.0）によりIoT、ビッグデータ、人工知能（AI）、ロボティクス等が浸透し、今ではデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現に向けた取り組みが広がっております。

新型コロナウイルス感染症の影響でシステム提案や新規設備案件に関わる商談等の停滞や遅延がある一方で、テレワークや遠隔操作、セキュリティ関連等、感染拡大を契機とした需要が高まりつつあります。

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを自動的に取り込み・認識ができるため、当社グループでは特にFA市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場を中心に提案販売活動を行ってまいりました。また、健診・人間ドック向けの新クラウドサービス「macmo（マクモ）」シリーズとして、「どこでも問診」に加え、「いつでも予約」「健診ステーションクラウド」「スマート健康経営」の3種類のクラウドアプリケーションを発表いたしました。今後の健診市場向けプラットフォームとして本格的に販売を進めてまいります。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、11億41百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益は1億12百万円（同76.4%増）となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、国内外の旅行者数が落ち込み、経営環境は低迷した状況で推移いたしました。感染再拡大の懸念があり、先行きが不透明な状況から本格的な業績の回復には時間を要することが予想されます。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」は、宿泊客や従業員の感染予防対策を徹底しつつ営業活動を継続し、稼働率は緩やかに改善してきました。一方で関連事業のレストランは、行政による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に準じた営業活動で厳しい状況が続きました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、2億19百万円(前年同四半期比57.6%増)、セグメント損失は1億96百万円(前年同四半期は2億68百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は582億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億16百万円増加いたしました。

流動資産は338億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億84百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が19億32百万円増加し251億61百万円となりました。

固定資産は243億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億67百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、投資有価証券が5億88百万円減少し91億40百万円となりました。

流動負債は31億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して73百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、賞与引当金が1億55百万円減少し1億89百万円となりました。

固定負債は24億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して22百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が14百万円減少し6億25百万円となりました。

純資産は527億9百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億12百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が4億61百万円増加し491億9百万円となりました。

自己資本比率は90.4%となり、前連結会計年度末と比較して0.2ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は251億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億32百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は9億14百万円の収入(前年同四半期は5億84百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益15億20百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は15億64百万円の収入(前年同四半期は6百万円の収入)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入14億61百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億63百万円の支出(前年同四半期は5億54百万円の支出)となりました。これは、配当金の支払額5億63百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月17日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,228,825	25,161,341
受取手形及び売掛金	3,332,781	2,824,736
リース債権及びリース投資資産	666,760	673,695
有価証券	349,930	349,930
商品及び製品	1,569,820	1,498,511
仕掛品	157,332	201,066
原材料及び貯蔵品	1,054,945	1,034,264
その他	2,346,514	2,147,658
貸倒引当金	△341	△336
流動資産合計	32,706,570	33,890,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,864,314	5,781,830
土地	6,686,658	6,686,658
その他(純額)	489,278	458,007
有形固定資産合計	13,040,251	12,926,495
無形固定資産		
投資その他の資産	275,254	269,400
投資有価証券	9,728,222	9,140,087
その他	2,454,793	2,293,934
貸倒引当金	△243,121	△242,084
投資その他の資産合計	11,939,894	11,191,937
固定資産合計	25,255,400	24,387,833
資産合計	57,961,970	58,278,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,166,078	1,082,155
リース債務	459,539	431,638
未払法人税等	241,783	237,962
賞与引当金	345,761	189,832
その他	1,014,727	1,213,226
流動負債合計	3,227,889	3,154,813
固定負債		
リース債務	640,378	625,383
役員退職慰労引当金	191,640	196,140
退職給付に係る負債	512,588	517,715
資産除去債務	60,768	60,886
その他	1,031,668	1,014,168
固定負債合計	2,437,043	2,414,293
負債合計	5,664,933	5,569,107

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	48,647,496	49,109,106
自己株式	△12,315,383	△12,315,383
株主資本合計	52,638,043	53,099,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△249,865	△306,036
退職給付に係る調整累計額	△91,141	△84,024
その他の包括利益累計額合計	△341,006	△390,060
純資産合計	52,297,036	52,709,592
負債純資産合計	57,961,970	58,278,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,262,363	3,516,357
売上原価	1,642,041	1,511,203
売上総利益	1,620,322	2,005,153
販売費及び一般管理費	1,789,925	1,682,943
営業利益又は営業損失(△)	△169,603	322,210
営業外収益		
受取配当金	166,694	193,306
雇用調整助成金	3,780	32,021
その他	14,770	71,843
営業外収益合計	185,245	297,172
営業外費用		
為替差損	4,642	—
営業外費用合計	4,642	—
経常利益	10,998	619,383
特別利益		
投資有価証券売却益	—	947,313
特別利益合計	—	947,313
特別損失		
役員退職慰労金	—	46,668
特別損失合計	—	46,668
税金等調整前四半期純利益	10,998	1,520,028
法人税、住民税及び事業税	24,026	429,986
法人税等調整額	△16,519	43,934
法人税等合計	7,507	473,920
四半期純利益	3,491	1,046,108
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,491	1,046,108

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	3,491	1,046,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,988	△56,171
退職給付に係る調整額	10,702	7,117
その他の包括利益合計	55,691	△49,053
四半期包括利益	59,183	997,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,183	997,055

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,998	1,520,028
減価償却費	123,426	128,151
引当金の増減額(△は減少)	△199,346	△152,470
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,428	5,127
受取利息及び受取配当金	△168,569	△195,063
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△947,313
売上債権の増減額(△は増加)	1,616,048	508,045
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△13,022	20,144
棚卸資産の増減額(△は増加)	△193,517	48,257
営業貸付金の増減額(△は増加)	8,076	23,334
仕入債務の増減額(△は減少)	△477,109	△83,923
リース債務の増減額(△は減少)	1,169	△42,896
その他	167,105	266,735
小計	888,688	1,098,157
利息及び配当金の受取額	167,793	195,461
法人税等の支払額	△472,070	△379,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	584,412	914,187
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,340	△113,164
投資有価証券の取得による支出	△6,087	△6,117
投資有価証券の売却による収入	—	1,461,719
敷金及び保証金の回収による収入	85,445	119,856
貸付金の回収による収入	—	91,940
その他	△30,086	10,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,931	1,564,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△554,807	△563,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△554,807	△563,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,409	17,093
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	34,127	1,932,515
現金及び現金同等物の期首残高	22,371,032	23,228,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,405,160	25,161,341

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。収益認識会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	1,978,171	1,144,828	139,363	3,262,363	—	3,262,363
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	168,035	21,760	6,569	196,365	△196,365	—
計	2,146,206	1,166,589	145,933	3,458,728	△196,365	3,262,363
セグメント 利益又は損失 (△)	128,238	63,834	△268,501	△76,428	△93,174	△169,603

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,174千円には、セグメント間取引消去975千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△94,149千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	2,155,334	1,141,346	219,677	3,516,357	—	3,516,357
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	151,166	23,057	7,210	181,434	△181,434	—
計	2,306,500	1,164,403	226,888	3,697,792	△181,434	3,516,357
セグメント 利益又は損失 (△)	478,749	112,629	△196,279	395,098	△72,888	322,210

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△72,888千円には、セグメント間取引消去1,311千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△74,199千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。